

2018年4月18日
リーズンホワイ株式会社
代表取締役 塩飽哲生

診療報酬改定の影響度を独自調査

～ 入院基本料1獲得の厳しい現状が明らかに ～

「医療×AIで全人類の寿命を1秒伸ばす」リーズンホワイ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：塩飽哲生）は、全国の病院における診療報酬改定の影響度を独自に調査いたしました。この度その概要を公開いたします。※監修：株式会社CDIメディカル

【調査の概要】

今回の調査では、2016年の病床機能報告のデータを分析し、診療報酬改定の影響度の評価を行いました。そこから、入院基本料1を獲得する厳しさが伺える結果が見えてきました。

急性期病床の分析の一例：

平成28年度の病床機能報告において「一般病棟7対1入院基本料」を算定している病院を対象に、平成30年度の診療報酬改定で新たに設定された「急性期一般病棟入院料1」の基準を達成している病院がどのくらいあるのか分析を行った。

- 平成28年度の病床機能報告時点で、「一般病棟7対1入院基本料」の算定をしている病院は1,518施設。
- このうち、病床機能報告において、「重症度、医療・看護必要度」「在宅復帰・病床機能連携率の算出に必要なデータ（入棟前の場所・退棟先の場所の状況）」「平均在院日数」の3項目が全て報告されていた1,425施設を対象に評価分析を行った。

結果：

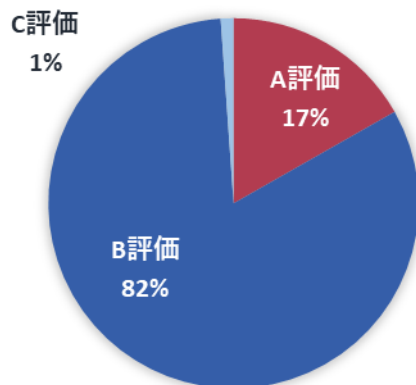
- 全ての基準を満たしていた施設は、わずか17%（239施設）。82%（1,170施設）は、1～2項目で未達であった。
- 特に未達の項目として影響が大きいのが「重症度、医療・看護必要度」。
 - （在宅復帰・病床機能連携率、平均在院数も伴わせて未達であった施設も含めて）「重症度、医療・看護必要度」が未達であった病院は66%（937施設）に及んでいた。

平成28年度の病床機能報告ベースのデータであるため、平成28年度以降に、病床転換を行っている病院や実績の大幅な変化があった病院があることも想定されるものの、今回の入院基本料1の設定の厳しさは伺える結果となっている。

急性期病院の分析例

	病院数	割合
2016年病床機能報告で、一般病棟7対1入院基本料を算定と報告している病院数	1,518	
判定不可：病床機能報告のデータ等に不備があった病院数	93	
影響度評価実施病院数	1,425	100%
A評価：「重症度、医療看護必要度」「在宅等復帰率」「平均在院日数」全てクリアしている病院	239	17%
B評価：「重症度、医療看護必要度」「在宅等復帰率」「平均在院日数」に未達があった病院	1,170	82%
内) 「重症度、医療看護必要度」のみ未達	548	38%
内) 「在宅等復帰率」のみ未達	223	16%
内) 「平均在院日数」のみ未達	4	0%
内) 「重症度、医療看護必要度」、「在宅等復帰率」が未達	381	27%
内) 「重症度、医療看護必要度」、「平均在院日数」が未達	8	1%
内) 「平均在院日数」、「在宅等復帰率」が未達	6	0%
C評価：全て未達	16	1%

影響度別病院割合



なお、この調査結果は、「診療報酬改定の影響度解説レポート」としてリーズンホワイ株式会社より販売いたします。

■会社概要

会社名：リーズンホワイ株式会社（英文社名：ReasonWhy Inc.）

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-11-1 オランダヒルズ森タワーRoP 1201

代表者：代表取締役 塩飽 哲生（しわく てつお）

設立：2011年7月7日

HP：<https://www.reasonwhy.jp/>

業務内容：医療 IT サービス、病院・医療関連企業のコンサルティング



■会社概要

会社名：株式会社 CDI メディカル（英文社名：CDI Medical, Incorporated）

所在地：〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-4 天王洲ファーストタワー23階

代表者：代表取締役 安島 孝知

設立：2005年6月28日

HP：<http://www.cdi-medical.co.jp/>

業務内容：医療機関等を対象とした経営コンサルティング・実行支援業務

企業・団体を対象とした医療分野に関する経営コンサルティング・実行支援業務 等

■本件に関するお問い合わせ先

リーズンホワイ株式会社 担当：今西、四俵（しだわら）

TEL：03-5530-8297 Email：whytplot_sales@reasonwhy.jp